

調査対象物質名	分析法フローチャート	備 考
[18] エンドスルファン類	<p>【水質】</p> <p>水質試料 24L以上</p> <p>捕集 ガラス繊維ろ紙 GC50 抽出ディスク C18 FF 100mL/分以下</p> <p>抽出・溶出 メタノール 10mL×2回 アセトン 10mL×2回 トルエン 10mL×2回 ろ紙はさらに超音波抽出 アセトン 50mL、20分間 トルエン 50mL、20分間 を2回繰り返す。</p> <p>濃縮・転溶 ロータリーエバポレータ 2～5mLまで ヘキサン 50mL</p> <p>洗浄 5%塩化ナトリウム水溶液 振とう 20分間</p> <p>脱水 無水硫酸ナトリウム</p> <p>定容 ヘキサン 9mL</p> <p>一部分取 3mL</p> <p>濃縮 ロータリーエバポレータ</p> <p>Envil Carb ヘキサン 10mL</p> <p>カラムクリーンアップ フロリジル 5g 硫酸シリカゲル(50:50) 5g 洗浄：ヘキサン 10mL 溶出：ジクロロメタン/ヘキサン(30:70) 30mL</p> <p>定容 シリンジ 20µL</p> <p>GC/HRMS-SIM-EI</p> <p>シリンジスパイク添加 PCB#70、#111、#138及び #178の¹³C₁₂-体各500pg</p> <p>(注) α-エンドスルファン-¹³C₉及びβ-エンドスルファン-¹³C₉を各2000pg</p>	<p>分析原理：GC/HRMS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【水質】 (pg/L) [18-1] 40 [18-2] 10</p> <p>分析条件： 機器 GC：Agilent 6890/7683 MS：AutoSpec Ultima/Premier 分解能：10,000 カラム RH-12ms 60m×0.25mm</p> <p>分析機関報告</p>

調査対象物質名	分析法フローチャート	備 考
[3] アルドリン [4] ディルドリン [5] エンドリン [18] エンドスルファン類	<p>【底質】</p> <p>底質試料 湿泥 (乾泥換算約8g)</p> <p>振とう・超音波抽出 アセトン 30~50mL 3回</p> <p>クリーンアップスパイク添加 (注)</p> <p>濃縮 ヘキサン100mL ロータリーエバポレータ 20~30mLまで</p> <p>洗浄 5%塩化ナトリウム溶液 100mL 振とう 30秒間 静置 10分間</p> <p>脱水 無水硫酸ナトリウム</p> <p>分割 ヘキサン100mL (50:50)</p> <p>一部分取 50mL</p> <p>濃縮・定容 約1mLまで</p> <p>カラムクリーンアップ フロジール 5g, 銅粉末 溶出: シクロメタン/ヘキサン(20:80) 100mL</p> <p>定容 ジクロメタン/ヘキサン (20:80) 10mLまで</p> <p>ゲルパーミエーション クロマトグラフィー アセトン/シクロヘキサン(20:80) 15~27分 プレカラム Shodex EV-G AC, カラム Shodex EV-2000 AC 注入液9mL</p> <p>Envi Carb ヘキサン9mL</p> <p>濃縮 20μL</p> <p>GC/HRMS-SIM-EI</p> <p>シリジンスパイク添加 PCB#9、#19、#70、#111、#155、#178、 #202の13C12-体を各400pg</p> <p>(注) Aldrin-¹³C₁₂、Dieldrin-¹³C₁₂、Endrin-¹³C₁₂、α-Endosulfan¹³C₉、 β-Endosulfan¹³C₉、を各400pg</p> <p style="text-align: right;">分析機関報告</p>	<p>分析原理: GC/HRMS-SIM-EI</p> <p>検出下限値: 【底質】 (pg/g-dry) [3] 0.6 [4] 0.6 [5] 0.9 [18-1] 2 [18-2] 2</p> <p>分析条件: 機器 [3]、[4]、[5]及び[18] GC: Agilent 6890/7683 MS: AutoSpec Ultima/Premier 分解能: 10,000 カラム [3]、[4]、[5] RH-12ms 30m×0.25mm、0.25μm [18] RH-12ms 60m×0.25mm、0.25μm</p>